



合唱コンクールを行いました。

10月26日(土) 令和6年度合唱コンクールを行いました。

曲目、伴奏者、指揮者などの決定、練習は1学期からスタートしていました。体育祭後、練習に熱が入っていましたが、2週間前から合唱優先週間とし、放課後の合唱練習や学年音楽など、最後の仕上げの練習を進めてきました。この2週間、学校が合唱で包まれました。休み時間、廊下を歌いながら歩く生徒。帰りバスを待つ玄関で楽しそうに歌う生徒。昼休み、多目的スペースで男子が歌い始めるとそれに合わせて教室の中の女子がハーモニーを奏でる様子も見られました。

コンクールには、300人を超える保護者の皆様、地域の皆様からお越しいただきました。

最初に、声出しを兼ねて校歌を合唱しました。気迫のこもった校歌に来場の皆さんから拍手をいただきました。いよいよ合唱の発表。各クラスの合唱と学年合唱が披露されました。1年生の元気で爽やかな合唱、2年生の豊かなハーモニーの迫力ある合唱、3年生の丁寧で美しく完成度の高い合唱が披露され、会場の皆様から温かく大きな拍手をいただきました。どの合唱も、生徒の真剣さ、熱意が伝わる素晴らしい合唱でした。審査員の先生から、生徒全員が積み重ねてきた努力へ、最大の賛辞をいただきました。校歌の歌詞「清き歌声、学びの里にこだまする」のように、歌声が体育館いっぱい響き渡った合唱コンクールでした。



1年2組「この星に生まれて」
指揮 津島 颯人 伴奏 田村佐八良



2年2組 「心の瞳」
指揮 高野 莉子 伴奏 本間 絢葉



1年1組「My Own Road-僕が創る明日-」
指揮 渡辺 習 伴奏 高橋 悠



2年1組 「キミのもとへ…」
指揮 内山 優麻



1年学年「大切なもの」
指揮 木村萌乃果 伴奏 坂川 翠



2年学年 「THEIWAの鐘」
指揮 横山 心柚 伴奏 大矢 凜



3年2組「YELL」
指揮 石田向佑英 伴奏 須貝 珈楠



3年1組「あなたへ - 旅立ちに寄せるメッセージ -」
指揮 東海林瑛太



3年学年 「手紙-拝啓十五の君へ-」
指揮 八藤後七海 伴奏 渡辺 結心



表彰の様子

平井先生に合唱の指導をしていただきました。

10月7日(月)宇都宮大学准教授の平井李枝先生にお越しいただき、合唱の指導をしていただきました。

平井先生は神林中学校の校歌の作詞作曲をしていただいた先生です。平井先生には、開校前の神納中、平林中の頃から、お越しいただき、コンサートや合唱の指導をしていただいています。

今年は、正式な文化庁の事業でお呼びすることはできなかったのですが、都合を付けていただき、指導をしていただく時間を作っていただきました。最初に全校で開会式をした後、1, 2, 3年の順に、学年合唱の指導をしていただきました。学年合唱の指導では、発声の仕方や声の伸ばし方、タイミングの合わせ方などを具体的に指導していただきました。笑顔で「吐く息を全部声にしてみよう。」「大丈夫だよ。」「もっとうまくなれる。」と優しく、生徒が安心する言葉をかけていただきました。生徒は、どんどん波に乗るようにうまくなっていきました。まるで魔法をかけられたようでした。



下越駅伝大会に出場しました。

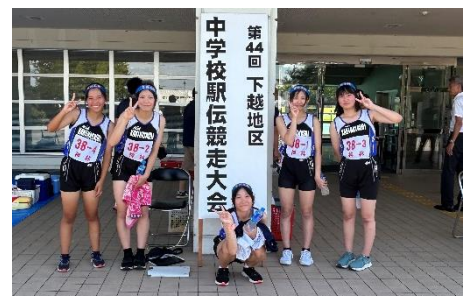
10月2日(水)新発田市五十公野公園陸上競技場周辺をコースとして、下越地区中学校駅伝競走大会が行われました。神林中学校からは女子チームが参加しました。

陸上部がない中、有志が声を掛け合ってメンバーを集め出場を決意してくれました。メンバーは5人、補欠はいませんでした。選手は体育祭前後の活動と並行して、グランドや外周コースを使って練習をしてきました。時々、バスを待つ3年生などが練習相手として走っている姿もありました。

駅伝当日は、爽やかな晴天で絶好の駅伝日和。保護者の皆様も応援に来てくださいました。

陸上部がある学校や、佐渡地区の強豪校を中心にレースが進みました。神林中は上位に行くことはできませんでしたが5人がしっかりとたすきをつなぎ一人一人が自分の力を精一杯出して走ってくれました。

最後の記念撮影では、みんな清々しい笑顔でした。来年も、この神林中学校のたすきをつないでくれることを願っています。



PTAキャリア講演会を実施しました。

10月2日(水) 開志国際高等学校バスケットボール部の総監督 富樫英樹先生と選手の皆さんをお招きし、PTA研修委員会主催 キャリア講演会を行いました。全国大会の優勝経験もある選手の姿や監督のお話をうかがうことで、夢や目標を持って生きることの大切さや素晴らしさを感じる機会とするため、PTA研修委員会の皆様に企画していただいた講演会です。富樫英樹監督は村上市山北地区のご出身です。また、選手の中には神林地区や村上市内の出身の選手もいました。

はじめは全国トップクラスのチームの練習の様子を見せていただきました。全日本の代表の選手もいて、ダンクシュートも見ていただきました。次の神林中の選手と一緒にプレーしていただき、その技術の素晴らしさを間近で感じさせていただきました。出場した選手は高校生と握手やハイタッチをしたり一緒に写真を撮っていただいたりしました。そして、高校生への「うまくなるには」「くじけそうなときには」などの質問への答えに、生徒は感心して聞いていました。

最後に、富樫監督から「無限なる挑戦」という演題でお話をさせていただきました。中学校を卒業してアメリカに渡ったお子様の富樫勇樹選手のお話や、ご自身の経験に基づいて、夢や目標を持つことの大切さ、当たり前前に感謝できる人になること、「凡事徹底」の大切さなどについてお話いただきました。富樫先生の厳しさと温かさが伝わってくるお話とともに、開志国際高等学校バスケットボール部の生徒のプレーだけではなく礼儀や心遣いの素晴らしさが印象に残りました。



村上特別支援学校との交流会を実施しました。

10月3日(木) 3年生が村上特別支援学校を訪問し、交流学习を行いました。

開会式の後、3年生からは合唱コンクールで歌う学年合唱の「手紙」を披露しました。まだ、コンクールへ向けて練習の途中の合唱でしたが、大人数での迫力ある合唱に支援学校の生徒たちに喜んでいただけたようでした。その後、神林中と支援学校の生徒がペアを組みながらゲームをしました。最初は大玉転がし、その次は新聞紙を使ったボール運びをしました。二人の息が合ってすごいスピードで進む生徒やマイペースでゆっくり進む生徒もいました。相手に声をかけたり笑顔で話しかけたりしながら、仲良くゲームをしていました。終わった後にハイタッチや握手をする生徒もいて、とても温かく和やかな雰囲気でした。今回の交流学习のテーマは「SMILE」お互いが笑顔になれるように、相手への思いやりがあちこちで見られた素晴らしい時間でした。



2学年PTA講演会

10月4日(金) 2学年PTA講演会を行いました。今回はナマラエンターテイメントの森下英矢さんを講師にお迎えし、「夢」をテーマにお話いただきました。森下様からは、自分の強みや弱点を知ることの大切さや周りの人のアドバイスが強み発見のきっかけになること。どんなに難しい夢でもその周りにある様々な仕事や役割の挑戦することで、好きなことに近づけるチャンスがあること。自分の好きなことに関わることはストレスを減らし、将来の幸せにつながるなどをご自身の経験を元にお話いただきました。生徒は、次週に控えた職場体験ともつながりながら、進路へ向けての考え方を深めていました。



避難訓練、起震車体験を実施しました。

10月8日(火) 今年度2回目の避難訓練を実施しました。今回は、昼休み中に地震が発生したことを想定して訓練を行いました。生徒は昼休み、自由行動の中での避難だったので緊張気味の生徒もいました。グラウンドへ各自で避難し、その後クラスごとに整列しました。整列した生徒は仲間と一緒に少し安心した様子でした。今回は、新潟県から起震車をお借りし、全員が地震の揺れを体験しました。4人程度のグループで車の荷台にある部屋に入り、東日本大震災や西日本大震災などの揺れを体験しました。

揺れると分かっているにもかかわらず、大きな揺れにやや顔がこわばる生徒もいました。この体験を記憶に残し、本当地震の時も冷静に行動し、命を守ってほしいと思います。



1 学年 村上巡検を行いました。

10月10日(木)総合的な学習として1年生が村上市街地での巡検活動を行いました。野外での活動には絶好の爽やかな晴天でした。

1, 2組合計12班の生活班で事業所を訪問し、会社や業務内容や歴史、やりがい、力を入れていることなどのインタビューに加えて、SDGsの視点で取り組んでいることについて質問してきました。各事業所の方が、利益だけではなく地域への貢献や環境に配慮した取組などに挑戦し、地域に溶け込み、必要とされる存在になるために努力している様子を知り、職業の奥深さを知ることができました。生徒は、その他、それぞれの班で神社や公園、お城山やイヨボヤ会館等を回り、村上市の魅力を感じてきました。そして、昼食は自分たちで決めた飲食店に入って、自分たちの好きなものを食べていました。仲間と一緒に来られたうれしさもあり、たくさん注文しておなかいっぱいになっている生徒もいました。集合場所に戻った生徒はみんな笑顔で満足げでした。

グループでの屋外での巡検活動は、3年生での修学旅行につながる重要な活動です。今年の活動の様子から、2年後の修学旅行の成功が目に見えました。



1 学年PTAビーチバレーボール大会を実施しました。

10月11日(金)1学年PTA行事で親子ビーチボールバレー大会を実施しました。生徒8チーム、保護者4チームの合計12チームを4ブロックに分け総当たり戦をしました。結果は4ブロック中3ブロックで保護者が1位となり、生徒は1チームだけが勝ち上がりました。そして、各ブロック代表の4チームでのトーナメントの結果、優勝、準優勝は保護者チーム、3位が生徒1チーム、保護者1チームとなりました。生徒は保護者の本気に圧倒されていましたが、終了後、来年への雪辱を誓っていました。



2 学年 職場体験

10月9日(水)から11日(金)の3日間、2年生がキャリアスタートウィーク(職場体験)を実施しました。村上市内の合計27の事業所に御協力いただき、3日間(一部2日間)にわたって「働くこと」を体感・実感することができました。各事業所では、時間やルールを守ることの大切さ、あいさつや笑顔の大切さを指導していただきました。また、おもてには見えない地道な仕事の大切さや仕事への思いやこだわり、お客様への感謝を示すことの難しさ等、学校では学ぶことができない「働くことの楽しさ、難しさ、奥深さ」を学ぶことができました。



ご協力をいただいたのは以下の事業所の皆様です。大変ありがとうございました。

村上看護専門学校 様	東北電力ネットワーク株式会社村上電力センター 様
株式会社 富樫組 様	株式会社 都市環境緑化 様 株式会社 サクマ 様
株式会社 大滝自動車工業 様	新潟交通観光バス株式会社 村上営業所 様
大光銀行村上支店 様	株式会社 MKT(すし誠) 様 NPO 法人希楽々 様
美容室MEGAMI村上店 様	村上市立中央図書館 様 土井美容室 様
株式会社 わら竹 様	株式会社ノジマ 村上店 様 株式会社 原信 村上インター店 様
村上記念病院 様 九重園 様	国土交通省羽越河川国道事務所 様 ウオロク村上店 様
特別養護老人ホームさつき園 様	特別養護老人ホームいわくすの里 様 村上市消防本部 様
みのり保育園 様 向ヶ丘保育園 様	平林小学校 様 神納小学校 様

あいさつについて(10月全校朝会より)

私が朝、玄関であいさつをしています。ほとんどの人があいさつしてくれます。自分から先にあいさつしてくれる人もたくさんいます。私はみなさんから、あいさつで元気をもらっています。でも、時々、返してくれない人、しているかもしれないけど声が聞こえない人、目を合わせない人がいます。そんな時、私はなんだか悲しくなります。気持ちが通じてないんじゃないかな。何か怒っているんじゃないかな。と不安になることもあります。

あいさつ運動をしていた生徒に「10人中何人返してくれる？」と聞いたとき、「2、3人くらいかな」と言っていたことがありました。その生徒も挨拶をしてもらえないとき、きっと、悲しい気持ちになっているんじゃないかなと思いました。

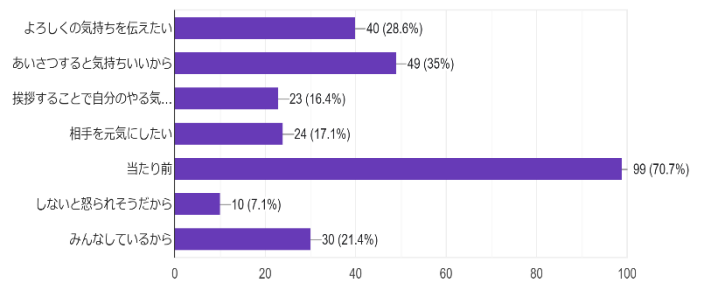
そう思って、今回の挨拶のアンケートをお願いしました。その結果、先生方やお客様、そして知っている人へはあいさつするが、よく知らない人には、あいさつはしないという人が多いようです。

また、このアンケート結果から皆さんの成長が見えてきます。小学校の低学年くらいは、誰にでもあいさつしなさいとわれたから、その通りしていたのだと思います。それが、少しずつ大人に近づくとき知っている人と心が通じるあいさつをする。だから、知っている人にはあいさつするけど、知らない人にあいさつするのは恥ずかしいのです。

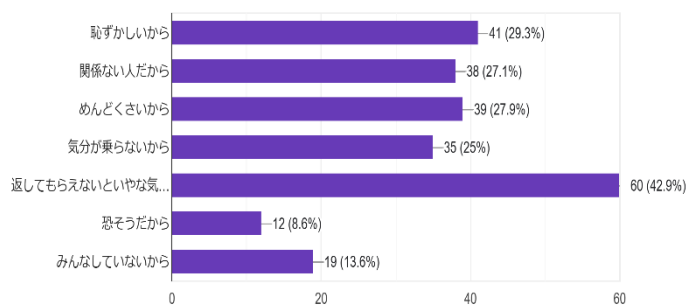
皆さんは成長して、もう一歩進んだあいさつの入口にいるのだと思います。体育祭の後のメッセージカードが廊下に貼ってあります。みんなのやさしさが言葉になっていました。「1人だとこんな挑戦はできなかった。」「こんな感動もなかった。」「みんないてくれたから、ありがとう」という感謝の言葉が飛び交っていました。知っている人も知らない人もみんなの力で感動の体育祭を創ったのだと思います。私たちはチームです。いやなこと、難しいこと、つらいことなど一人ではできないことをみんなでやるから頑張れる。それが学校です。仲が良い人もそんなに良く知らない人も、先生方も含めて、神林中学校で生活をする仲間、家族なのです。だから、同じ会社に勤める同僚、同じ試合をプレーするチームメイトとハイタッチをするように、誰にでもあいさつをする。全校生徒が団結していっしょに頑張ろうという絆を確かめる。そんな姿が、もう1歩進んだあいさつの姿なのではないでしょうか。

アンケートに、神林中の挨拶がこうなったらいいなという姿を書いてもらいました。その中に「先輩、後輩、先生関係なくあいさつのできる学校」「みんなが元気になれるような挨拶をできる姿」「みんながニコニコしながら挨拶する姿」「無視しないでどの学年も元気にあいさつする」「あまり関わりのない先輩や後輩とも気軽に挨拶を交わすことができる」「挨拶が当たり前になって明るく平和な学校」「みんなが挨拶をしあって学校全体が明るい姿」という意見がありました。私もこんな学校であってほしいと願います。

あなたが、あいさつするのはなぜですか。当てはまるものを3つ以内チェックしてください。
140件の回答



あいさつをしない(できない)時の理由は何ですか...はまるものを3つ以内チェックしてください。
140件の回答



合唱コンクールが終わった後、生徒会本部と生活委員会が朝のあいさつ運動をしてくれました。30人近い生徒が玄関前に並んで、登校する生徒にあいさつをしてくれました。同じ学年でなくても、仲が良いかどうかにかかわらず、元気にあいさつをすることで学校のスタートに、笑顔が増えているように感じます。この誰にでもあいさつする伝統が神林中学校に根付くといいなと思います。

ハロウィン カボチャランタンづくりをしました。

10月24日(木) 1年生がハロウィンのカボチャランタンづくりを行いました。

このカボチャランタンは、神林地区関係人口創出事業実行委員会が企画、実施する「ハロウィン&かかし祭」で飾られるもので、毎年、神林中学校の1年生が制作しています。材料のカボチャは、環境委員会が春から中庭で育てたものと地域の方が育てて提供していただいたもの、合わせて60個近くを使いました。

事務局の方から、説明を聞いた後、一人一つずつ自分のカボチャを決め、作業を開始しました。

最初の作業は、中身を取り出すための穴を開ける作業です。後からフタとして使えるように丸く切り込みを入れます。カボチャの厚みがあり、なかなか取り出せず苦労していましたが、ナイフやスプーンで深く切り込みを入れ、ようやく大きな穴を開けることができました。その穴から中身を取り出し、マジックで書いた顔に合わせて目や口をくりぬきました。カボチャの形とくりぬいた顔がひとつひとつ違い、ユニークなカボチャランタンができました。このカボチャランタンは10月26日(土)~27日(日) 道の駅神林

「穂波の里」で行われた「2024ハロウィン&かかし祭り」で展示されました。この祭りでは、神林中学校の生徒が作成した案山子も展示されました。



吹奏楽部 オータムコンサートを行いました。

10月27日(日)、吹奏楽部のオータムコンサートを行いました。このコンサートは吹奏楽部の引退試合にあたります。合唱コンクールの翌日で、疲れを感じる生徒もいたと思いますが、朝8時に集合し、音合わせや、会場準備、最後のリハーサルを行いました。

そして、10時から100人以上の地域、保護者の皆様、生徒を迎え、コンサートがスタートしました。指揮の合図で「マーチアトランティス」を演奏しながらの入場でのスタートでした。その後、来場の皆様がよく知る歌を演奏した後、吹奏楽コンクールで演奏した「鷲が舞うところ」の迫力ある演奏が行われました。休憩を挟み、アニメの歌や生徒が大好きな曲、元気が出る曲のメドレー等



が演奏されました。一度演奏を終了したあと、間をとってTシャツ姿に着替えた後、2曲のアンコールの演奏がありました。リズムに乗り、楽しそうに演奏する吹奏楽部はとてもカッコ良かったです。スタートの行進や早き替え等、コンサートの構成や演出は生徒の発案で決まったそうです。

全員での記念撮影の後、1、2年生から3年生へ感謝のプレゼントと花束が贈られ、

最後には顧問の先生へ3年生から感謝のメッセージと花束が贈られました。

この演奏会をもって、3年生は引退を迎え、吹奏楽部の伝統が後輩へと引き継がれました。

11月~12月の予定

11	5	火	放課後学習会	12	2	月	生徒会役員選挙
月	7	木	Ⅲ期テスト1日目	月	4	水~9	月 2学期末個別懇談会
	8	金	Ⅲ期テスト2日目		8	日	吹奏楽アンサンブルコンテスト
	11	月	新入生学校説明会		10	火	第3回PTA理事会
	12	火	未来塾		16	月	生徒会専門委員会
	14	木	2年生総合発表会 未来塾		19	木	生徒会球技大会1日目
	15	金	1年生歯科保健指導		20	金	生徒会球技大会2日目
	16	土	数学検定		24	火	2学期終業式
	21	木	職員会議		25	水	冬期休業開始(~1/6)
	26	火	いじめ見逃しゼロスクール集会				
	27	水	生徒会専門委員会				
	28	木~29	金 1、2年生単元別復習テスト				
	29	金	3年生進路説明会				



